



©2017 JA-KYOSAI

<https://social.ja-kyosai.or.jp/>

JA共済 地域貢献活動 REPORT 2021



お問い合わせ先
全国共済農業協同組合連合会 (JA共済連)
全国本部 農業・地域活動支援部 地域貢献運営グループ
〒102-8630 東京都千代田区平河町2-7-9 JA共済ビル



JA共済 地域貢献活動アンバサダー
ティモンディ
(左: 前田裕太、右: 高岸宏行)

はじめに

JA共済は、組合員・利用者の皆さまが、住み慣れた地域で、健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりに貢献するために、地域の皆さまとの絆を大切にしながら、共済事業と地域貢献活動に取り組んでいます。

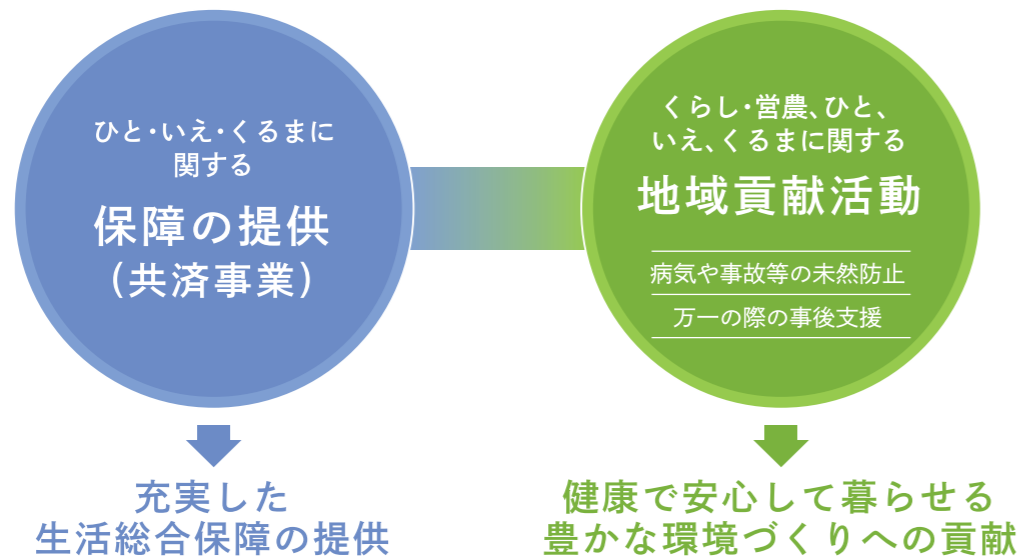
本冊子では、JA共済が取り組むさまざまな地域貢献活動を紹介します。

JA共済事業の使命

- JA共済は、農業協同組合が理念とする「相互扶助」を事業活動の原点とし、常に組合員・利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「満足」を提供します。
- JA共済は、最良の保障・価格・サービスによる「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供を通じて、組合員・利用者の豊かな生活づくりに努めます。
- JA共済は、事業活動の積極的な取り組みを通じて、豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりに貢献します。

JA共済の取り組み

JA共済が実施する保障の提供と地域貢献活動(病気や事故等の未然防止と万一の際の事後支援)は車の両輪の関係にあり、相互に機能することにより「安全・安心」の輪を広げてきました。



地域貢献活動の取り組み

「助け合い」の精神でさまざまな活動に取り組んでいます。

くらし・営農分野の活動

心の豊かさや絆の大切さを次世代へ伝えるための文化支援活動や生活支援活動、環境保全活動、農業経営に貢献するための農業振興活動に取り組んでいます。



農業高校等への支援



農業体験の開催支援



小・中学生 書道・交通安全ポスターコンクールの開催

ひと分野の活動

元気な生活を送るために役立つ健康管理・増進活動をはじめ、介護・福祉活動など、助け合いの精神でさまざまな活動に取り組んでいます。



レインボー体操の普及



笑い与健康教室の開催



介護・医療機器等の寄贈

いえ分野の活動

万が一に備える防災・防火対策活動のほか、自然災害などの被害にあわれた際の救援活動から復興支援に至るまで、さまざまな活動に取り組んでいます。



災害シートの無償配布



災害キットの無償配布



仮設住宅の無償貸与

くるま分野の活動

交通事故のない社会をめざして交通事故の未然防止や交通事故被害者支援など、さまざまな活動に取り組んでいます。



自転車交通安全教室の開催



自動車安全運転診断の実施



介助犬の育成・普及支援

数字で見るJA共済の取り組み

共済事業

ひと・いえ・くるまの総合保障

充実した保障の提供を通じて、
皆さまの毎日の暮らしに安心をお届けしています。



ひとの保障

●生命総合共済(保有契約)

加入件数 2,192 万件
保障金額 97兆1,607億円



いへの保障

●建物更生共済(保有契約)

加入件数 966 万件
保障金額 141兆5,833億円



くるまの保障

●自動車共済(保有契約)

加入件数 826 万件

●自賠責共済(保有契約)

加入台数 657万台

お役立て
いただいた
共済金

令和2年度(令和3年3月末まで)

にお支払いした共済金 3兆8,804億円

万一のときや満期のときなどに共済金をお支払いすることで、
多くの皆さまにお役立ていただきました。

■令和3年3月末実績

共済事業と地域貢献活動を通じて、
多くの皆さまにお役立ていただきました。

地域貢献活動

くらし・営農、ひと、いえ、くるま
に関する地域貢献活動

健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりのために、
さまざまな活動を展開しています。



くらし・営農
分野の活動

●小・中学生 書道・交通安全ポスターコンクール

これまでの応募点数

書道 5,911 万点以上
交通安全ポスター 941 万点以上



ひと
分野の活動

●レインボー体操

これまでの参加人数 76 万人以上

●笑い与健康教室

これまでの参加人数 11 万人以上



いえ
分野の活動

●災害シートの無償配布

これまでの配布枚数 28 万枚以上

●災害キットの無償配布

これまでの配布セット数 4 万セット以上

●仮設住宅の無償貸与

これまでの貸与棟数 2,200 棟以上



くるま
分野の活動

●世代別交通安全教室(幼児向け/生徒向け/シルバー世代向け)

これまでの参加人数 304 万人以上

●安全運転診断(シルバー世代向け/全世代向け)

これまでの参加人数 9 万人以上

■令和3年3月末累計実績

コロナ禍における 農業・地域への貢献

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う課題・影響が生じるなか、その課題解決に向けて皆さまにお役立ていただけるよう、助け合いの精神でさまざまな取り組みを行いました。

医療・介護の現場を支援する取り組み

マスク、フェイスシールド等の寄贈

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を支援するため、地域医療を支える医療機関をはじめ、介護施設、学校などにマスクやフェイスシールド、非接触体温計などを寄贈しました。



外出自粛者の健康増進を支援する取り組み

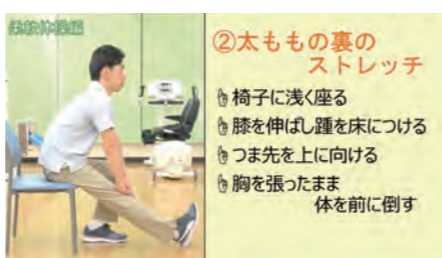
レインボー体操 スペシャル動画の公開

自宅で過ごす時間が多い方々の運動不足解消や健康増進などを目的に、JA共済オリジナルの健康体操(レインボー体操)を紹介する動画「Rainbow Action With You」を制作し、ホームページ上に公開しました。



介護リスクを軽減する 「転倒予防体操」の公開

外出自粛などにより、高齢者の運動不足や健康の悪化が懸念されるなか、将来の介護リスク軽減を目的に、社会福祉法人中伊豆リハビリテーションセンターの理学療法士による「転倒予防体操」の動画をホームページ上に公開しました。



子どもたちを支援する取り組み

全国の小学校等への 交通安全教育DVDの寄贈

小学校をはじめとする教育現場において例年実施していた、警察など外部の専門家を招いての交通安全指導が制限され、交通安全教育が十分に実施できていない状況を受け、「小学生向け交通安全教育DVD」を制作し、全国の小学校、特別支援学校、警察署、教育委員会および市区町村に寄贈しました。



野球少年・少女たちを応援する 特設サイトの公開



外出自粛の影響でチームでの十分な練習ができず、自宅で過ごす時間が多い野球少年・少女たちを応援する特設サイト「HOME BASEBALL」をホームページ上に公開しました。練習メニュー動画「野球カドリル」や、家事をしながら効果的な野球の練習ができる「家事トレ」動画など、さまざまなコンテンツをお届けしました。



地域農業を支援する取り組み

地産地消の促進

レストランなどでの外食の減少や輸出規制などの影響により農業生産の需要が減退した状況を受け、学校等への地域農産物などの寄贈により各県域で地産地消の促進を支援しました。



国産農畜産物の消費を促す動画 「ピーヤキッチン」の公開

国産農林水産物の消費拡大プロジェクト「フード・アクション・ニッポン」の取り組みの一環として、消費が落ち込んでいる高級食材(和牛)を用いて家族で楽しみながら調理できるレシピ動画を制作し、ホームページ上に公開しました。



「地域・農業活性化」に向けた自己改革の取り組み

— 約1,000万人の方々に参加していただきました —


JAグループでは、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」としての社会的役割を果たすため、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標に自己改革を進めています。


これを踏まえ、JA共済では、平成28年度に「地域・農業活性化積立金」を創設し、従来から行っていた健康管理・増進活動や災害救援、交通事故対策活動などの「ひと」「いえ」「くるま」分野の地域貢献活動に加え、地域の実情に応じた「くらしや営農」に関するさまざまな活動に、JAと一体となって取り組んできました。


平成28年度から令和2年度における各領域の活動実績は約2万2,000件にのぼり、イベントなどの活動には約1,000万人(のべ)の方々に参加していただきました。


地域・農業活性化積立金を活用した各領域の活動実績

| | 主な取り組み | 活動実績 |
|---|-------------------------|----------------------------|
|  営農分野 (農業全般) ● 農業振興活動 | 食育イベント・農業体験 | 〈参加人数〉 約143万人 |
| | 農作業効率化に向けた先進機器等の寄贈 | 〈寄贈先〉 556か所 (うちドローン50台) |
| | 農業高校・農業大学校への農作業機械等の寄贈 | 〈寄贈先〉 125校 |
| | 地域特産物のPRイベント・資材作製等 | 〈活動件数〉 638件 |
| | JAまつり等の開催・協賛 | 〈参加人数〉 約560万人 |
| | 地産地消促進活動への支援 | 〈活動件数〉 314件 |
| | 中央会・担い手サポートセンターを通じた活動支援 | 〈活動件数〉 44件 |
| | 直売所におけるイベント | 〈参加人数〉 約29万人 |
| | 直売所の設備強化 | 〈活動件数〉 277件 |
| | 新規就農支援、労働力不足への支援 | 〈活動件数〉 117件 |
| 鳥獣被害対策 | 〈活動件数〉 1,130件 | |

| | 主な取り組み | 活動実績 |
|--|--------------------|---------------|
|  くらし分野 ● 生活支援活動 ● 協同活動 ● 文化支援活動 ● 環境保全活動 | 移動購買車の寄贈 | 〈寄贈数〉 102台 |
| | 救急自動車の寄贈 | 〈寄贈数〉 24台 |
| | 子育て支援イベントの開催 | 〈参加人数〉 約41万人 |
| | 高齢者生活支援の実施 | 〈活動件数〉 844件 |
| | 女性大学・婚活等 各種イベントの開催 | 〈参加人数〉 約44万人 |
| | 防犯カメラの寄贈 | 〈寄贈数〉 1,003台 |
| | スポーツ大会の開催・協賛 | 〈参加人数〉 約127万人 |

| | 主な取り組み | 活動実績 |
|---|------------------------|--------------|
|  ひと分野 ● 健康管理・増進活動 ● 介護・福祉活動 | 検診車の寄贈 | 〈寄贈数〉 14台 |
| | 血圧計の寄贈 | 〈寄贈数〉 1,057台 |
| | AEDの寄贈 | 〈寄贈数〉 796台 |
| | 健康教室・イベント(体操、ウォーキング含む) | 〈参加人数〉 約31万人 |
| | 健康診断・人間ドック等の助成 | 〈参加人数〉 約40万人 |
| | 車いすの寄贈 | 〈寄贈数〉 676台 |
| | 介護予防教室の開催(デイサービス含む) | 〈参加人数〉 約3万人 |

| | 主な取り組み | 活動実績 |
|--|----------------|--------------|
|  いえ分野 ● 防災・防火対策活動 | 防災教室、防災イベントの開催 | 〈参加人数〉 約28万人 |
| | 防災用品の寄贈等 | 〈活動件数〉 321件 |

| | 主な取り組み | 活動実績 |
|---|----------------|--------------|
|  くるま分野 ● 交通事故未然防止活動 ● 交通事故被害者支援活動 | 交通安全指導車の寄贈 | 〈寄贈数〉 104台 |
| | 交通安全啓発資材の寄贈等 | 〈活動件数〉 271件 |
| | 交通安全教室・イベントの開催 | 〈参加人数〉 約15万人 |

活動件数(累計) **約2万2,000件**

参加人数(のべ) **約1,000万人**

JA共済の取り組みとSDGsがめざす世界

近年、よく耳にする「SDGs」という言葉。

地球の環境や資源を守りながら、私たちが豊かに暮らせる未来を後世につなげていくために国連によって掲げられた目標のことで、一人ひとりが手を取り合い「誰一人取り残さない」世界の実現を理念としています。

私たちJA共済は、「一人は万人のために、万人は一人のために」という「相互扶助(助け合い)」を事業理念に、「ひと・いえ・くるまの総合保障」や農業者の皆さまに対する保障の提供、さまざまな地域貢献活動を通じ、組合員・地域住民の皆さまが豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくりをめざしてきました。このような取り組みの一つひとつが、SDGsの実践そのものであり、SDGsがめざす世界の実現につながると考えています。

◆JA共済の事業活動◆



「一人は万人のために、万人は一人のために」豊かで安心して暮らすことのできる地域社会づくり



◆SDGsがめざす世界◆



「誰一人取り残さない」世界の実現

SDGsとは

SDGsは「Sustainable Development Goals」の略で、「持続可能な開発目標」を表します。

2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた国際目標です。

2030年までに「誰一人取り残さない」世界を実現することをめざしており、17の目標(ゴール)と、さらに細分化された169のターゲットから構成されています。



取組方針

保障・サービスの提供や地域貢献活動等の事業活動を実践し、JA共済の事業基盤である農業と地域社会の持続可能性を確保します。

1. 健康で豊かな生活への貢献

保障提供をはじめ、健康管理・増進や介護・福祉に資するサービスおよび地域貢献活動の取り組みにより、健康で豊かな生活づくりに貢献します。

貢献する主なSDGs目標



2. 安全・安心を実感できる地域社会づくり

保障提供をはじめ、防災・減災・事故防止に資するサービスおよび地域貢献活動の取り組みにより、安全で安心を実感できる地域社会づくりに貢献します。

貢献する主なSDGs目標



3. 持続可能な農業への貢献

農業振興・農業者所得増大・農業リスク軽減に資する保障・サービスや地域貢献活動の取り組みにより、持続可能な農業に貢献します。

貢献する主なSDGs目標



4. 地球環境への貢献

温暖化防止や環境保護に資する取り組みにより、気候変動に代表される地球環境問題の解決に貢献します。

貢献する主なSDGs目標



地域貢献活動との関わり

P11~24では、「くらし・営農、ひと、いえ、くるま」の各分野で取り組むJA共済の地域貢献活動の内容について、SDGs取組方針に沿って紹介します。

JA共済の地域貢献活動の4つの分野





SDGsがめざす世界の実現に向けた JA共済の地域貢献活動



JA共済が取り組む地域貢献活動について、
JA共済のSDGs取組方針に沿って内容を紹介します。

P13~16

1 健康で豊かな生活への貢献

- 健康管理・増進に向けた取り組み
- 交通事故被害者の社会復帰支援に向けた取り組み
- 次世代を担う子どもたちの文化支援に向けた取り組み

健康管理・増進や介護・福祉に資する取り組みにより、健康で豊かな生活づくりに貢献します。

貢献する主なSDGs目標

- 3 すべての人に健康と福祉を
- 8 働きがいも経済成長も
- 10 人や国の不平等をなくそう

P21~22

3 持続可能な農業への貢献

- 農作業事故未然防止活動に向けた取り組み
- 農業の活性化に向けた取り組み

農業振興・農業者所得増大・農業リスク軽減に資する取り組みにより、持続可能な農業に貢献します。

貢献する主なSDGs目標

- 2 飢餓をゼロに
- 1 貧困をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 13 気候変動に具体的な対策を

農業分野の活動も欠かせませんね



P23~24

4 地球環境への貢献

- フード・マイレージ低減に向けた「地産地消」支援の取り組み
- 資源の有効活用に向けた取り組み

温暖化防止や環境保護に資する取り組みにより、気候変動に代表される地球環境問題の解決に貢献します。

貢献する主なSDGs目標

- 13 気候変動に具体的な対策を
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任 つかう責任

P17~20

2 安全・安心を実感できる地域社会づくり

- 防災・減災に向けた取り組み
- 災害救援・復興支援に向けた取り組み
- 交通事故未然防止に向けた取り組み

防災・減災・事故防止に資する取り組みにより、安全で安心を実感できる地域社会づくりに貢献します。

貢献する主なSDGs目標

- 11 住み続けられるまちづくりを
- 1 貧困をなくそう
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 13 気候変動に具体的な対策を

P25~36

5 地域の実情に応じたさまざまな地域貢献活動

協同の力で
助け合いの
輪を全国に

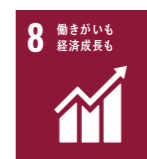
安全・安心な地域社会の実現や地域の皆さまの健やかな生活を守るために、全国各地で地域の実情に応じたさまざまな活動に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 健康で豊かな生活への貢献

健康管理・増進や介護・福祉に資する取り組みにより、健康で豊かな生活づくりに貢献します。

貢献する主なSDGs目標



健康管理・増進に向けた取り組み

レインボー体操の普及

心臓に負担をかけないやさしい動きで、全身の血液の流れをよくするJA共済オリジナルの健康体操です。立っても、座っても、寝ていてもできますので、体力に自信のない方や高齢者にも安全に行っていただけます。色々な音楽にあわせて楽しく体を動かしながら、病気予防・健康づくりを推進しています。



レインボー体操をやってみよう！

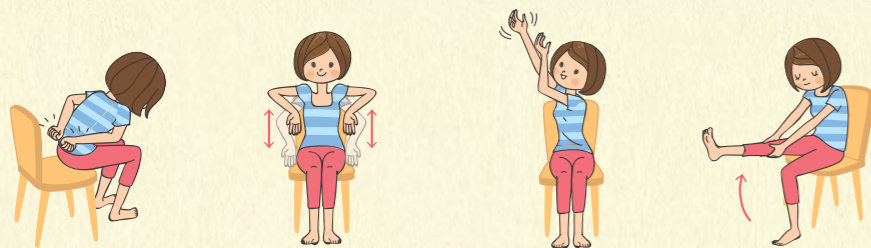
レインボー体操は、腰痛予防や首・肩こりの解消、認知症予防など、さまざまな体の不調・悩みに効果があります。ホームページでは症状にあわせた体操の方法も公開していますので、ぜひ皆さんと一緒に体験してみてください。



楽しく体操して健康な体をめざしましょう！



- 腰痛予防
- 首・肩こりの解消
- 認知症予防
- 転倒予防



笑いと健康教室の開催

「笑い」が心や体によいということは医学的にも証明されつつあり、最近では病気の予防や治療においても注目されています。健康増進活動のひとつとして「笑いと健康」の關係に着目したプログラムを開発し、「笑い」の効果とその仕組みについて学び、実際に体験する「笑いと健康教室」を開催しています。



親子で楽しめる健康増進プログラム ちよいムズチャレンジの開催

NEW

親子で体を動かす楽しさを体感していただく運動プログラムです。「幼児期運動指針」(文部科学省)に基づく「幼少期に身につけたい36の基本動作」のうち「なげる」「うつ」「ける」の3つの動作を中心に、ゲーム形式で遊びながら体験することができます。



健康・介護ほっとラインの開設

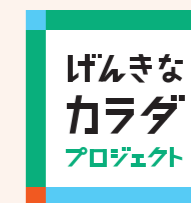
生活習慣病予防や肥満などの健康相談、医療機関の情報提供、育児・介護などのご相談を専門スタッフがフリーダイヤルでお受けしています。

シワセイチバン コンサルタント
0120-481-536
無料 受付時間 24時間・365日
看護師・介護支援専門員(ケアマネージャー)・医師(精神科・心療内科を除く)・栄養士による親身な対応
●お名前は伺いませんので安心してご利用ください。



TOPIC げんきを一緒に作る // げんきなカラダプロジェクト

皆さまの「げんきなカラダ」づくりを総合的にサポートする「げんきなカラダプロジェクト」に取り組んでいます。気軽に読めるお役立ち情報の発信や、楽しみながら健康を維持・改善できるイベントの開催などを通じて、日々の暮らしに寄り添いながら皆さまの健康づくりを応援しています。



「げんきなカラダ」づくりやればできる!!



「げんきなカラダ」づくりを実践しよう！

地域貢献活動ホームページ「ちいきのきずな」内のコンテンツ「健康サポート情報局」では、健康づくりレシピ、ドクターによる健康に役立つコラム、介護情報など、健やかな暮らしに役立つ情報を多数掲載しています。



1 健康で豊かな生活への貢献

リハビリテーションセンターもあるんですね！



豊かな暮らしへの貢献のために全力投球！！

貢献する主なSDGs目標



🚗 交通事故被害者の社会復帰支援に向けた取り組み

社会復帰支援のためのリハビリテーションセンターの開設

静岡県の中伊豆と大分県の別府に、交通事故などによる身体障がい者の社会復帰支援を目的としたリハビリテーションセンターを開設しています。これら2つのリハビリテーションセンターは、「病院」「福祉施設」「介護施設」の3つの機能を持った全国でも数少ない総合型の施設です。昭和48年の設立以来、「身体障がい者のしあわせ」と「福祉社会の建設に寄与すること」を理念として交通事故被害者などの社会復帰をお手伝いしています。



社会福祉法人 農協共済 中伊豆リハビリテーションセンター



社会福祉法人 農協共済 別府リハビリテーションセンター

介助犬の育成・普及支援

交通事故などにより手足に障がいのある方の日常生活を介助する「介助犬」の育成・普及支援に取り組んでいます。社会福祉法人 日本介助犬協会の事業の支援や、NPO法人 日本補助犬情報センターへの研究支援、介助犬によるデモンストレーション「ガンバレ！介助犬！JA共済はたらくワンワンランド！」を開催しています。



コラム まだまだ足りない!? 介助犬育成・普及の実情

皆さんは介助犬をご存じですか？視覚障がい者を支える盲導犬と同様に、交通事故などで手足に障がいを持った人の生活を助ける補助犬の一種です。令和3年4月1日現在、全国で活躍している介助犬の数は60頭。現在国内で861頭が活躍している盲導犬に比べると、頭数も認知度もまだまだおよびません。さらに、全国で介助犬を必要としている人の数は約1万5,000人といわれており、その育成と普及が求められています。

参考：厚生労働省ホームページ



こんなこともできるよ！

🌱 次世代を担う子どもたちの文化支援に向けた取り組み

小・中学生 書道・交通安全ポスターコンクールの開催

次世代を担う小・中学生の皆さんに、「相互扶助」と思いやりの大切さを伝えるとともに、書写教育に貢献することを目的に書道コンクールを、交通安全への意識を高め幅広く社会に呼びかけることを目的に交通安全ポスターコンクールを全国ならびに各都道府県にて開催しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により全国コンクールは中止となりましたが、一部の地域で都道府県コンクールを開催しました。



日本リトルリーグ野球協会・日本リトルシニア中学硬式野球協会への協賛

「野球というチームプレーを通じて健全な社会性を養い、強健な身体と健全な精神の涵養に寄与すること」などを目的とした公益財団法人 日本リトルリーグ野球協会および一般社団法人 日本リトルシニア中学硬式野球協会の活動に協賛し、子どもたちの健康で健全な心身の育成に貢献しています。



全国小・中学校リズムダンスふれあいコンクールへの協賛

「小・中学生の豊かな人間性の育成や体力の向上」を目的とした全国小・中学校リズムダンスふれあいコンクールの活動に協賛し、助け合い・支え合いの大切さを次世代に伝えています。



安全・安心を実感できる地域社会づくり

防災・減災・事故防止に資する取り組みにより、安全で安心を実感できる地域社会づくりに貢献します。

防災・減災に向けた取り組み

ザブトン教授の防災教室

イス型の地震動体験装置「地震ザブトン」で過去に起こった地震のリアルな揺れを体験し、家具固定など日頃から地震に「備える」ことの必要性を再認識していただく体験学習型プログラムを展開しています。



NEW

●プログラムの流れ



1. 導入

スタッフによる説明。「大地震が来たらどう行動するか」について考える。

2. 感じる

地震ザブトンに乗り過去の地震を体験する。

3. 学ぶ

クイズ形式のパネルで家の中の安全対策について学ぶ。

4. 備える

おさらいカードを持ち帰り家での備えにつなげる。



TOPIC

ティモンディ・高岸さんが地震ザブトンを体験！
「前田塾特別編～地震塾～」



ティモンディの高岸さんが、地震のメカニズムを学んだ後に「地震ザブトン」でリアルに再現された地震の揺れを体験したことで日頃の地震への備えの必要性に気付く動画を、ホームページ上に公開しています。



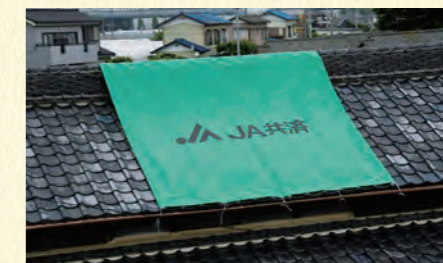
貢献する主なSDGs目標



災害救援・復興支援に向けた取り組み

災害シートの無償配布※

自然災害などでお住まいが壊れてしまった方に、JAを通じて災害シートを無償で配布しています。東日本大震災、熊本地震などでも災害シートをお配りし、災害からの復興に向けたサポートをしました。



災害キットの無償配布※

自然災害などで被害を受けられた方に、JAを通じて災害キットを無償で配布しています。九州地方で発生した令和2年7月豪雨などでも、災害キットをお配りしました。



仮設住宅の無償貸与※

火災などで自宅に居住できなくなった方に、仮設住宅を8か月間無料で貸与しています。住宅にはキッチン・トイレ・お風呂など、暮らしに必要な設備をあらかじめ備えています。



※JA共済のご契約者さまで一定の要件を満たす場合に限りです。

東北ユースオーケストラへの活動支援

東日本大震災の被災三県(岩手県・宮城県・福島県)出身の子どもたちを中心に構成され、音楽家の坂本龍一氏が代表・監督を務める東北ユースオーケストラ(TYO)に協賛し、「震災からの心の復興」に向けた活動を支援しています。



2 安全・安心を実感できる 地域社会づくり



貢献する主なSDGs目標



🚗 交通事故未然防止に向けた取り組み

〈幼児向け〉

JA共済アンパンマン交通安全キャラバンの開催

「JA共済アンパンマン交通安全キャラバン」が全国を巡回し、歌や踊りを通じて幼児に交通ルールを伝えます。小さなお子さまに人気のJA共済のイメージキャラクター「それいけ! アンパンマン」。アンパンマンたちと交通ルールを学び、親子で交通安全について考える時間を提供しています。



親と子の交通安全ミュージカル魔法園児マモルワタルの開催

就学前の幼稚園・保育園児と保護者を対象とした、ミュージカル形式の交通安全教室を全国各地で開催しています。このミュージカルは、舞台の上の横断歩道で園児が実際に体験できるなど、客席の園児、保護者の皆さまと舞台がひとつになって、楽しみながら交通ルールを学べる構成となっています。



〈生徒向け〉

自転車交通安全教室の開催

中学校や高等学校で行われる交通安全教室の際、スタントマンによる危険な自転車走行にともなう交通事故の実演で、危険性を疑似体験させる教育手法(スクエアード・ストレイト方式)を警察などと連携し、推進しています。



〈シルバー世代向け〉

交通安全教室の開催

高齢者の交通事故を防ぐために、「シルバー世代向け交通安全教室」を開催しています。JA共済オリジナルの「交通安全落語」で笑いながら交通安全の意識を高め、誰でも楽しく参加できる内容になっています。



自動車安全運転診断の実施

高齢ドライバーの交通事故を防ぐために、ドライビングシミュレーター搭載車両「きずな号」を全国に4台配置し、巡回型の安全運転診断を行っています。過去の事例を参考に、事故を起こしやすい場面を再現したドライビングシミュレーターを使い、約5~14分程度の体験で安全運転のアドバイスが受けられる内容となっています。



〈全世代向け〉

自転車安全運転診断の実施

自転車事故防止を目的として、全世代を対象に、自転車シミュレーター搭載車両「すまいる号」を全国に4台配置し、巡回型の自転車の安全運転診断を行っています。約5~10分程度の体験で自転車乗用中の交通ルールや危険予測を実践的に学習できます。



JA共済の交通安全の取り組みの一部は、自賠責共済の運用益を活用して実施しています。

持続可能な農業への貢献

農業振興・農業者所得増大・農業リスク軽減に資する取り組みにより、持続可能な農業に貢献します。

貢献する主なSDGs目標



農作業事故未然防止に向けた取り組み

農作業事故体験VR※を活用した学習プログラムの展開

※VR:バーチャル・リアリティー

農作業事故の未然防止を目的に、当事者の視点から農作業中の事故を疑似体験できる「農作業事故体験VR」を活用した学習プログラムを、全国のJAにおける研修会やイベント、農業関連団体による講習会などで展開しています。



TOPIC 農作業事故を疑似体験する国内初の取り組みとしてグッドデザイン賞を受賞

“農作業事故を自分ごと化できるVR”というコンセプトが事故未然防止に有用であるという高い評価を受け、公益財団法人日本デザイン振興会が運営する「2020年度グッドデザイン賞」を受賞しました。

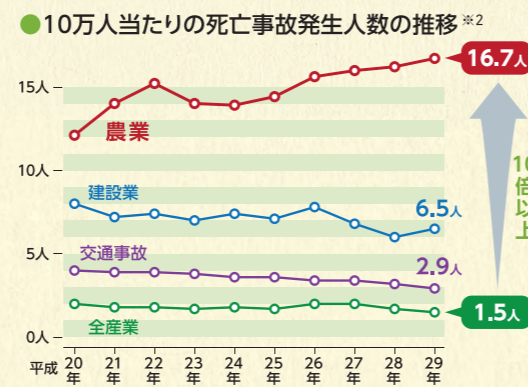


コラム 命にかかわる農作業事故の危険性

1年間に農作業事故がどのくらい発生しているかご存じですか？その件数はなんと年間約7万件^{※1}。そのうち死亡事故は、建設業の2倍、すべての産業の平均と比べると10倍以上の発生率です。なかでも重大事故につながりやすいのが農業機械での事故です。JA共済ではここに注目し、「乗用型農機の転倒」「歩行型農機の制御」「さまざまな農機との接触」の3つのテーマで5つのVR動画コンテンツを開発。VR動画で農作業事故を疑似体験していただき、安全対策の重要性を伝えています。

※1 JA共済による推計

※2 死亡者数:農作業死亡事故調査(農林水産省)、死亡災害報告(厚生労働省) 就業人口:農林業センサス、農業構造動態調査(農林水産省)、労働力調査(総務省)



農業の活性化に向けた取り組み

農作業効率化の支援

農作業の軽労化・効率化支援を目的に、先進機器等(ドローンなど)を寄贈しています。農作業時の負担軽減や、作業時間の短縮を図ることで、農業者の所得増大・農業生産の拡大に貢献しています。



農業高校等への支援

農業の担い手育成支援を目的に、農業大学校や農業高校等に対し実習用の農業機械・機具などを寄贈しています。学習環境の整備を図ることで、将来の農業後継者の人材育成に貢献しています。



地元産品の生産拡大の支援

地域農業の活性化を目的に、地域の特性を活かした地元産品の生産振興の取り組みを支援しています。農業者の所得向上や新たな担い手の参入に向けた取り組みを通じて、地域農業の活性化に貢献しています。



コラム 農業者の高齢化と担い手不足の問題

約46万人。これは平成27年から令和2年の5年間に減少した農業者の数です。平成27年に約198万人だった農業者数は5年間に約152万人に減少、65歳以上の農業者の割合は6割から7割に増加しました。新規就農者数はここ数年、毎年約5万5,000人前後を推移していますが、5年間で見れば減少傾向です。農業者の減少は、食料供給の不安定化をはじめ、耕作放棄地の増加、絆を大切にする農村コミュニティの衰退など、さまざまな問題を引き起こします。JA共済は、持続可能な農業への貢献を通じて、豊かな食料と地域の未来を支えています。

参考:農林業センサス(農林水産省)

地球環境への貢献

温暖化防止や環境保護に資する取り組みにより、気候変動に代表される地球環境問題の解決に貢献します。

🌱 フード・マイレージ低減に向けた「地産地消」支援の取り組み

JA共済プレゼンツ

それいけ！アンパンマンミニショー＆握手会の開催

NEW

「JA共済プレゼンツ それいけ！アンパンマンミニショー＆握手会」では、食育をテーマとしたJA共済オリジナル絵本の配布や地元特産品の展示を行い、ミニショーへ来場いただいた親子に、楽しみながら地域の「食」と「農業」について考えるきっかけを提供しています。



©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

食育イベント・農業体験の開催支援

健全な食生活を実現するために、地域の農産物などを用いた食農教育活動に取り組んでいます。農業体験学習や親子料理教室は、小学校と連携した取り組みも多く、多様な組織と連携して実施することから、地域とのつながり強化にも貢献しています。



コラム 地産地消でエネルギーの消費削減に貢献

日常の買い物ひとつとってもエネルギーの消費削減につながることをご存じですか？地産地消は、地域で生産したものをその地域で消費しようという取り組みですが、農畜産物の流通には運搬のためのエネルギーが発生し、その距離や手段に応じたCO₂が排出されることとなります。現在、日本の食料自給率はカロリーベースで38%*。残りの62%は海外からの輸入に頼っている状況です。つまり、一人ひとりが地産地消を意識して行動し、食料自給率を回復させることが、日本の農業を応援するだけでなく、CO₂の削減にもつながるのです。JA共済では、地産地消の支援を通じて、農業振興と環境保全に貢献しています。

* 農林水産省ホームページ



貢献する主なSDGs目標



🌱 資源の有効活用に向けた取り組み

リボンキャンペーンの実施

資源の有効活用と地球環境保護を目的として、自動車の修理や車検の際、自動車の損傷箇所を新品に交換するのではなく、補修やリサイクル部品を利用していただくよう啓発活動を行っています。



コラム 農業・農村の有する多面的機能

農業・農村は、私たちが生きていくのに必要な米や野菜などの生産の場としての役割を果たしていますが、それだけではありません。農村で農業が継続して行われることにより、私たちの生活に色々な「めぐみ」をもたらしています。このめぐみを「農業・農村の有する多面的機能」と呼んでいます。例えば、水田は雨水を一時的に貯留し、洪水や土砂崩れを防いだり、多様な生きものを育む環境になったりもします。「農業・農村の有する多面的機能」は、私たちが暮らすこの地球にとっても大切な財産であり、これを将来にわたって維持・継続することが大変重要です。



【主な機能】

- 洪水を防ぐ働き
- 暑さを和らげる働き
- 川の流れを安定させる働き
- 土砂崩れを防ぐ働き
- 景観を保全する働き
- 水をきれいにする働き

参考：農林水産省ホームページ



日本全国に広がる助け合いの輪

P25～36では、日本全国に広がるさまざまな地域貢献活動の事例を都道府県別に紹介します。



全国を旅しましょう！

地域の実情に応じたさまざまな地域貢献活動

安全・安心な地域社会の実現や地域の皆さまの健やかな生活を守るために、全国各地で地域の実情に応じたさまざまな活動に取り組んでいます。ここでは、その一部を紹介します。



1 北海道

防災用簡易ライトで地域住民の防災対策に貢献

平成30年9月6日に震度7を観測した北海道胆振東部地震を受け、いどこで起こるか分からない大規模災害に備えるため、防災対策につながる資材を継続的に配布しています。令和2年度は、防災の日にあわせて「防災用簡易ライト」5万セットを、組合員をはじめとする地域の皆さまにJAを通じて配布したところ、「災害時の備えに役に立つ」との反響をいただきました。



2 青森県

体験型プログラムの開催で環境保全の理解を醸成

森林の恩恵や役割への理解醸成と参加者同士の絆を深めるため、「JA共済きずなの青い森プロジェクト」を開催しました。本取り組みは「森林」「食育」「木工クラフト」の3つを軸に構成され、森林組合や生協、消防署の職員の方々などにもご協力いただき開催しています。令和2年度は、平内町立小湊小学校5、6年生の児童と保護者、先生の計24名が参加しました。



北海道・東北エリア

- 北海道
- 秋田県
- 青森県
- 山形県
- 岩手県
- 福島県
- 宮城県



全国の地域貢献活動と一緒に見て行きましょう！



3 岩手県

農業大学校等へ農業機器を寄贈し未来の農業者を育成

農業の担い手の育成・確保や農業生産技術に関する実習環境の充実を図るために、農業大学校や県内の高等学校に農業機器を寄贈しました。これまでは20年前の農業機械で実習していた学校や、今後スマート農業に対応した人材育成に注力していく学校があるなかで、最新の農業機器を実習に役立てていただきました。



4 宮城県

起き上がり啓発POP資材を寄贈し特殊詐欺被害防止に貢献

高齢者を中心とした特殊詐欺被害を食い止める取り組みとして、起き上がり啓発POP資材「その電話詐欺かも！待った!!」を宮城県警察本部に寄贈しました。オレオレ詐欺、預貯金詐欺、キャッシュカード手交型詐欺は、固定電話への架電から始まる傾向にあることから、受話器を取ると同時に同資材が起き上がり注意を促すことで、被害防止につながりました。



5 秋田県

幅広い場面で活用可能な資材を寄贈し交通安全を広く啓発

地域の交通安全に向けた取り組みとして、交通安全啓発資材を秋田県警察本部に寄贈しました。資材は「交通安全イメージソングCD」「交通安全啓発動画」「交通安全啓発ステッカー」「交通安全川柳カレンダー」の4種類。寄贈の様子はテレビ局各社から取材を受け、県内のニュースで広く報道されるなど、多くの方々から反響をいただきました。



6 山形県

夜光反射リストバンドを寄贈し歩行者の安全・安心に貢献

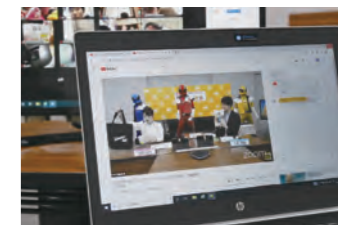
夜間の歩行者事故の未然防止を目的に、山形県警察本部に「夜光反射リストバンド」5,000本を寄贈しました。リストバンドはプロサッカーチーム「モンテディオ山形」のロゴが描かれた青色基調のデザインとなっており、モンテディオ山形のホームゲーム会場にて配布されました。県警本部長からは「着用を呼びかけ、県民の安全確保に努めたい」との言葉をいただきました。



7 福島県

天気と防災のオンライン学習で県内の子どもたちを笑顔に

県内の子どもたちとその家族に身近な天気や防災についての知識を学んでいただくため、「気象予報士土井さんのオンライン親子お天気教室」をKFB福島放送と共催しました。2回行った教室には合計で約150組の親子が参加し、画面越しには子どもたちの真剣な眼差しや笑顔が見られるなど、気象に関する実験や防災について楽しみながら学んでいただくよい機会となりました。



関東・甲信越エリア

- 茨城県
- 東京都
- 栃木県
- 神奈川県
- 群馬県
- 山梨県
- 埼玉県
- 長野県
- 千葉県
- 新潟県



次は関東・甲信越！
僕の出身地、
神奈川県の活動は？



8 茨城県

交通安全帽子を寄贈し子どもたちの交通事故未然防止に貢献

子どもたちの交通事故未然防止に向けて、茨城県を通じて小学校新入学児童へ黄色い交通安全帽子2万4,480個を寄贈しました。登下校時の交通事故未然防止に有効である本取り組みは、昭和51年度から実施して今回で45回目となり、これまでに約161万個を寄贈しました。寄贈式では知事より「長く地道な活動に心から感謝する」といった謝辞とともに感謝状をいただきました。



9 栃木県

児童・生徒向け食育活動で県産農産物の魅力をPR

次代を担う子どもたちに県産農産物の魅力を伝えるため、JAと行政が連携して食育活動の支援を行いました。5年目となる令和2年度の活動では、県内25市町の小・中学校と県立特別支援学校(小学部・中学部)の計489校に、県産いちご「とちおとめ」を寄贈しました。学校給食として児童・生徒・教職員など約15万5,000人に提供され、大変喜んでいただきました。



10 群馬県

養護施設等の学用品購入を支援し子どもたちの育成に貢献

子どもたちの健全な成長を願い、県内の児童養護施設、乳児院、児童館に、学用品・図書を購入や生活支援のための費用を寄付しました。寄付金は、乳児院で購入したアルバムに思い出を記録し、退所時にプレゼントする、といった取り組みなどに活用していただき、群馬県庁での寄贈式では、本取り組みが継続的に行われていることに感謝の言葉をいただきました。



12 千葉県

継続的な募金運動を通じて交通遺児援護世帯を支援

交通遺児援護世帯を支援するため「JA共済交通遺児育英資金募金運動」を実施しました。コロナ禍のため街頭募金は中止としましたが、県下JAの本・支店(所)に加え、経済センターや直売所、ガソリンスタンドなど、計328か所に募金箱を設置しました。今回の募金運動は42回目となり、これまでに総額1億7,780万391円を千葉県交通安全対策推進委員会へ寄贈し、勉強奨励金や図書カードなど、さまざまな形で活用いただいています。



14 神奈川県

交通安全啓発資材を寄贈し夜間の交通事故未然防止に貢献

夜間の交通事故未然防止のために、神奈川県と県警察本部へ交通安全資材を寄贈しました。本取り組みは平成20年度より継続して行っています。令和2年度は反射材付きエコバッグ3,200個と靴やバッグに貼り付ける反射材「夕暮れのピキヤット」3万2,000個の2種類を寄贈し、地域の交通安全に貢献しました。



11 埼玉県

マイカー「ドライブラリー」で県産農畜産物の魅力をPR

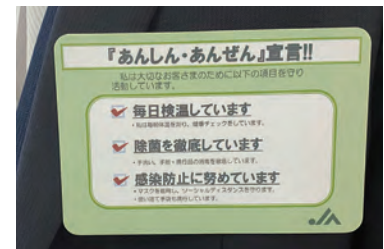
地域の皆さまに県産農畜産物の魅力を伝えるため、直売所や収穫体験施設などのツアーポイントに自家用車で移動する「ドライブラリー」を実施しました。野菜や果実の収穫、そば打ち、紙すきなどさまざまな体験をしていただくとともに、県産の農畜産物を使用した昼食を提供することで、参加者から「埼玉県の農畜産物を知ることができた」など喜びの声が多数寄せられました。



13 東京都

安心をお届けする“バッジ”を作成し施設の感染症対策を強化

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向け、感染症対策意識を向上し、地域の皆さまへ安心をお届けするため、「あんしん・あんぜん宣言!!」バッジを作成しました。また、組合員・利用者の皆さまに安心して店舗や施設を利用いただくため、JA関連施設に感染症対策資材を設置しました。



16 長野県

抗菌マスクケースを配布し児童・生徒の教育を支援

コロナ禍の影響により「JA共済全国小・中学生 書道・交通安全ポスターコンクール」の開催が見送られたことを受け、コンクールを楽しむにしていた県内の小・中学生全員に向けて「オリジナル抗菌マスクケース」19万3,000個を長野県教育委員会に寄贈しました。令和3年度は同コンクールを通して児童・生徒の書写教育、図画工作・美術教育ならびに交通安全教育に貢献できるよう努めていきます。



17 新潟県

交通安全ラッピングバスの運行により交通安全を啓発

地域の皆さまに広く交通安全の重要性を知っていただくために、「新潟県JA共済小・中学生交通安全ポスターコンクール」の入賞作品18点をデザインしたラッピングバス5台を運行しました。新潟県庁で行われた出発式では県庁を訪れた多くの方から注目を集めました。入賞作品で飾られた華やかなラッピングバスは交通量の多い路線で運行され、多くの方から好評をいただきました。



15 山梨県

楽しく学べる食農教室を通じて子どもたちの農業への理解醸成に貢献

地域の未来を担う子どもたちに、いのちや自然、食べ物、農業の大切さを伝えるため、県内小学校で「JA食農教室」を開催しました。シニア野菜ソムリエによるクイズを交えた講義で野菜や果物について楽しく学び、講義の最後には地域特産の「シャインマスカット」をプレゼントするなど、地元農業に親しみをもってもらいました。



皆さんが住んでいる県も探してみてくださいね!



地域の食と文化を伝える「郷土料理」



宮城県「はらこ飯」

山梨県「ほうとう」



富山県「ぶり大根」

山口県「瓦そば」

日本では昔から、各地域の産物が上手に活用された食べ物として、その土地の風土にあった郷土料理が親しまれてきました。郷土料理は、その地域の歴史や文化とともに受け継がれています。

毎日食べる食事や学校給食などのなかにも、伝統的な食文化を受け継いだ郷土料理が取り入れられていることがあります。地元で生産されたものを、地元で消費する地産地消の取り組みに注目が高まる現在、改めて自分の暮らす地域の郷土料理に目を向けてみませんか？

JA共済の地域貢献活動紹介ホームページ「ちいきのきずな」内のコンテンツ「ちいきのために」では、日本全国の郷土料理とレシピを都道府県別に紹介しています。ぜひ、ご活用ください。

レシピを活用して自宅で地域の味を再現してみてくださいね！



東海・北陸エリア

- 富山県
- 石川県
- 福井県
- 岐阜県
- 静岡県
- 愛知県
- 三重県



まだまだ行きますよ!!



18 富山県

市町村にカーブミラーを寄贈し安全対策強化に貢献

交通事故の未然防止と減少を願い、平成4年度から秋の全国交通安全運動期間中、県内の市町村にカーブミラーを寄贈しています。これまでに新設と交換を合わせて2,900基のカーブミラーを設置できました。令和2年度の寄贈式では、富山市の副市長より「歩行者事故や保育園児などの巻き込み事故が多く、道路の安全対策強化のためにも毎年の継続はありがたい」と謝辞をいただきました。



19 石川県

テレビ番組を通じて地域の皆さまへJAの取り組みを発信

農業に携わる生産者やJAの取り組みを広く地域の皆さまに知っていただくため、各JAで実施している農業振興活動や地域貢献活動を紹介するテレビ番組を制作しました。視聴者からは、「JAのことをもっと知りたい」「これからも地域のため、農業のため、取り組みを続けてほしい」といった声をいただきました。



20 福井県

小・中学生に半紙を寄贈し書道教育の発展に貢献

コロナ禍で「JA共済全国小・中学生 書道・交通安全ポスターコンクール」の開催が見送られたため、小・中学生に向けて書道に欠かせない「半紙」を寄贈しました。寄贈式では、書道コンクールのキャラクター「キョショー」も登場し、書道コンクールのPRも行いました。保護者からは、「とても嬉しそうにしていた」といった声もいただきました。



22 静岡県

自動走行トラクターを寄贈し次世代型農業の教育に貢献

農業振興に向けた取り組みとして、静岡県立農林環境専門職大学に自動運転機能を搭載した最新の自動走行トラクターを寄贈しました。実習や次世代型農業の授業などで活用いただくことで、将来の農林業を支える人材の育成の一助となり、農林業のますますの発展につながることを願っています。



24 三重県

横断旗等を寄贈し交通事故のない安全な社会の実現に貢献

信号機のない横断歩道での一時停止率が低い状況を踏まえ、安全な交通社会の実現のために、横断旗2,000本と運転者向けの啓発用リーフレット2万5,000枚を三重県交通安全協会に寄贈しました。このほか、交通安全をテーマとしたラジオ番組の放送や交通遺児等育成資金の募金活動などを通じて、交通事故未然防止や交通事故被害者支援活動を行いました。



21 岐阜県

母子手帳ケースの配布等により子育てを応援

令和元年度より県内各市町村の窓口を通じて、すべての妊婦さんへ「オリジナル母子手帳ケース」を配布しています。また、子育てを継続的にサポートするため、子育て支援SNS「JA共済こそだてひろば(岐阜県)」にて子育てに関するさまざまなお役立ち情報を配信するなど、地域の皆さまの子育てを応援しています。



23 愛知県

テレビ番組を制作・放映し地元農業の活性化に貢献

地元農業と地域の活性化を目的としたテレビ番組を制作しました。本番組は生産者へのインタビューや特産品の収穫体験、調理方法、産直施設の紹介など、農業全般について学ぶことができます。また、SNSによる情報を発信することで、次世代層との継続的なつながりづくりも併せて行いました。

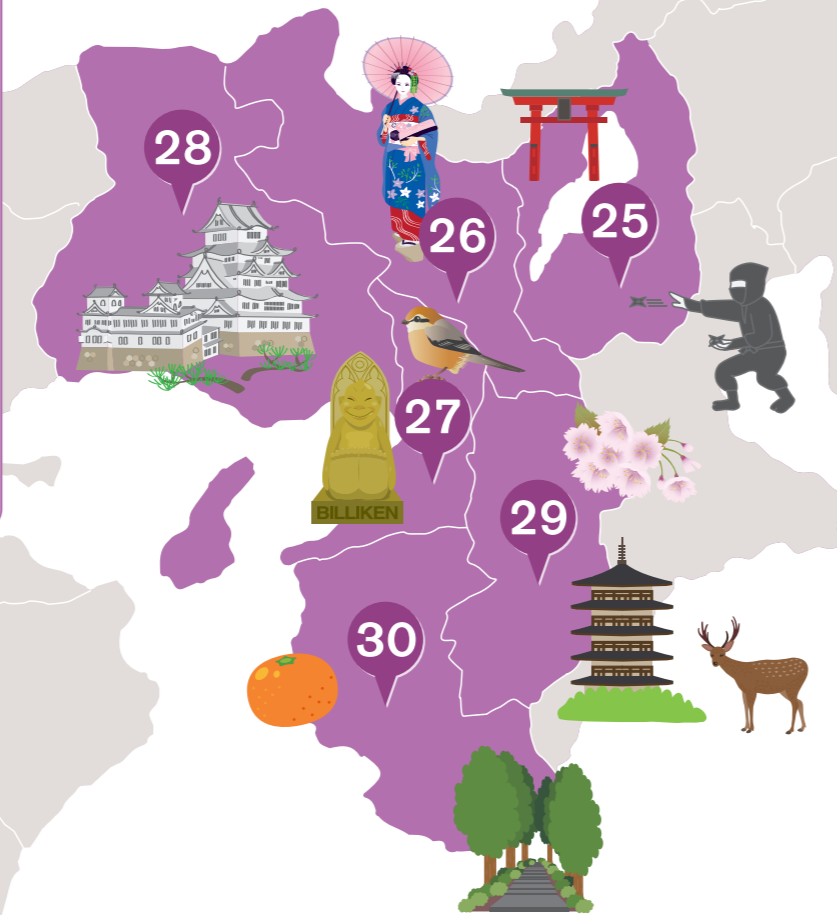


助け合いの輪が全国に広がっていることがわかりますね!!



近畿エリア

- 滋賀県
- 兵庫県
- 京都府
- 奈良県
- 大阪府
- 和歌山県



コラム発見！
少し立ち止まってみましょう！



25 滋賀県

プロバスケット選手の訪問で 児童の夢や目標を応援

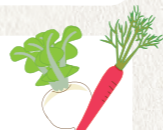
子どもたちにスポーツを通じて夢や目標を持ってもらうため、B.LEAGUE1部に所属する「滋賀レイクスターズ」の学校訪問「JA共済Presentsレイクスタキャラバン選手学校訪問」を平成23年度から開催しています。令和2年度は感染予防対策を行ったうえで講話学習を行い、子どもたちは熱心にメモを取りながら選手、コーチの話に聞き入っていました。



26 京都府

非接触型体温測定器の導入で JA直売所等の感染症対策を強化

JAグループ京都が感染症対策として行った、JA関連店舗・直売所などに非接触型体温測定器を設置する取り組みを支援しました。本取り組みを通じて組合員・利用者の皆さまに安心して店舗や施設を利用いただくことができたほか、「府内の金融機関の中でも先進的で、大変すばらしい感染症対策だ」との評価の声をいただきました。



27 大阪府

クリスマスプレゼントを贈り 保育園の子どもたちを笑顔に

コロナ禍で中止となったクリスマスイベントに替わり、令和2年度は12月に保育園を訪問してプレゼントを贈りました。野菜を題材にした絵本やアンパンマングッズのプレゼントはととても喜んでいただきました。また、訪問した際に子どもたち全員が迎えてくれた保育園や、後日お礼とともに子どもたちの写真を送っていただいた保育園もあり、JAを身近に感じてもらえる取り組みとなりました。



28 兵庫県

農業学校へ農機具等を寄贈し 将来の担い手育成をサポート

将来の農業の担い手を育成する環境の拡充を図るため、農業大学校と農業高校に、農機具などを寄贈しました。本取り組みは平成28年度より行っており、学校関係者の方々からは「実践的な実習と授業内容の高度化にもつながり、学生の学力・技術の向上にも役立っている」と謝辞をいただいています。



29 奈良県

児童に交通安全傘を寄贈し 事故のない地域社会づくりに貢献

児童を交通事故から守り、安心して暮らせる地域社会づくりを目的に、小学1年生を対象とした「交通安全傘」1万2,800本を、奈良県交通安全協会に寄贈しました。「交通安全傘」の寄贈は平成26年度から継続しており、累計で9万1,700本となりました。寄贈式での「各地域の小学校から大変好評」といった言葉や、学校からも到着時期や次年度の実施有無の問い合わせなど、多くの反響をいただきました。



30 和歌山県

農林大学校・高校に農機具等を寄贈し 未来の農業の担い手を支援

地域農業の振興と農業経営の安定化に資するため、農林大学校と県立高校4校に農機具などを寄贈しました。本取り組みは平成30年度から継続して実施しており、令和2年度は農林大学校に農業散布ドローン、県立高校にミニバックホーなど、各校で選定された機器合計19品目を寄贈し、農業の担い手の育成にお役立ていただきました。



コラム 低学年の登下校中は交通事故に特に注意

子どもにとって小学1年生は、「一人歩きデビュー」の時期。学校の登下校などをはじめ、子どもたちだけで行動することが増えます。そこで問題になるのが交通事故の危険性。小学生の交通事故は歩行中に発生することが多く、その事故における死者・重傷者の約半数は小学1、2年生です。これは小学校に入学して活動範囲が広がる一方で、交通ルールや道路に潜む危険に対する理解が十分でないことが主な原因と考えられます。JA共済では、交通安全に向けたさまざまな資材を各所に寄贈したり、交通安全教育につながるDVDを配布するなど、子どもたちを交通事故から守る活動に取り組んでいます。

参考：警察庁ホームページ 子供の交通事故に関する分析



ちょうど一人で
登下校できるようになる
時期ですね！



小学1年生の交通事故は
特に5月中～下旬に
多発しています！



中国・四国エリア

- 鳥取県
- 徳島県
- 島根県
- 香川県
- 岡山県
- 愛媛県
- 広島県
- 高知県
- 山口県



日本は広いですね！
僕の出身地、愛媛県の活動は？

31 鳥取県

スマート農業技術に関する教育環境充実に一役

次代の農業を担う若者の育成支援を目的に、スマート農業技術に関する授業・実習で使用する「ロボット草刈機」「ソーラー自動かん水システム」などの機材・備品計11品を農業大学校へ寄贈し、学校関係者の方から感謝の言葉をいただきました。また、同校の学生たちがスマート農業に取り組む姿を描くテレビ番組を制作しました。



32 島根県

街頭防犯カメラで街と地域住民の安全を見守る

安心して暮らせる地域づくりを支援し、犯罪の未然防止を図るため、公益社団法人 島根県防犯連合会へ街頭防犯カメラを寄贈しました。近年、街頭防犯カメラが犯罪の検挙や事故の調査に有効なことからメディアの注目度も高く、寄贈の様子はテレビのニュース番組でも取り上げられました。本取り組みが地域の皆さまの防犯意識の向上につながり、交通事故などの調査にもお役立っていただいています。



33 岡山県

セーフティーコーンを寄贈し「子ども110番の家」で地域の安全を守る

子どもたちが危険に遭遇したときや困りごとがあるときに助けを求めることができる「子ども110番の家」にわかりやすい目印を設置するため、黄色のセーフティーコーン1,363本を県内83の小学校に寄贈しました。児童たちの手によって「110番シール」が貼られたセーフティーコーンは、学区内の「子ども110番の家」に届けられ、児童や地域の皆さまからも感謝の言葉をいただきました。



35 山口県

うそ電話詐欺の動画を作成し地域の防犯啓発を支援

高齢者を中心とする地域の皆さまが詐欺にあわないよう、巧妙な手口がリアルに表現された「うそ電話詐欺」の動画を山口県警察本部と連携して作成しました。YouTubeに公開するとともに、高齢者施設で放映するなど、地道な周知活動も行っています。動画をきっかけに防犯意識が高まったとの評価に加え、詐欺の未然防止に向けた金融機関の職員教育にも役立っています。



37 香川県

体験型農園の展開を支援し地域の農業活性化に貢献

農業に触れたことのない准組合員や地域の皆さまに農業への理解や親しみを持っていただくことを目的とした、JA香川県初の体験型農園「讃さんファーム」の開設に伴い、イベントスペースの設置、中古農具の整備などを支援しました。「農園がきっかけで初めてJAまつりに参加した」といった声をいただくなど、JAと地域住民が二人三脚で取り組む新たな地域農業づくりのきっかけにもなりました。



34 広島県

テレビ番組を通じて夢を持つ子どもたちを応援

スポーツや文化活動に全力で打ち込む子どもたちを紹介するテレビ番組を制作、放映しています。本番組は令和元年度から毎週放映しており、夢を追いかける小学生から高校生に「自分を支えているもの」や「将来の目標」についてインタビューしています。本番組の放映を通じて、夢を追いかける子どもたちの豊かな心身の成長を応援しています。



36 徳島県

県内農業情報を紹介するミニ番組を通じて地産地消の意識向上に貢献

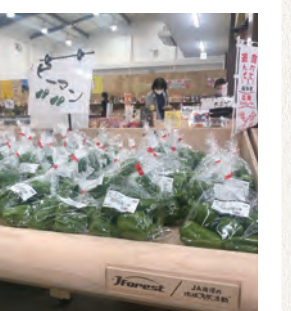
地域の皆さまに県内の農業について知っていただき、地産地消の意識を向上することを目的に、情報テレビ番組内のミニコーナー「JA共済Presents美味ちゃん通信」を放映しています。本番組内では、リポーターが収穫体験をしながら生産者の生の声を届けるとともに、JA女性部が特産物を使ったレシピを紹介することで地産地消を促進しています。



39 高知県

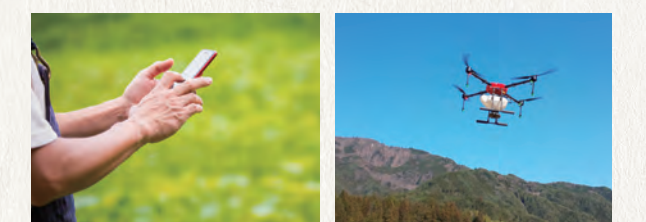
直売所の活性化を通じて生産者と消費者の交流を応援

「生産者と消費者の交流の場づくり」による次世代の担い手支援と地域農業の発展を目的に、幡多地区の直売所に県産ヒノキ・スギなどを活用した農作物陳列棚やカウンターを寄贈しました。人口減少により地域の支え合いの力が弱まるなか、今後も直売所を通じて「生産者と消費者の交流の場づくり」を行い、次世代層との接点の確保および地元農業の活性化を図っていきます。



コラム 進化を続ける「スマート農業」

スマート農業とは、ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用して、農作業の省力化や高品質生産をめざす新たな農業のことです。農業の現場では、依然として人手に頼る作業や熟練者でなければできない作業が多い一方で、農業者の高齢化、新規就農者数の減少といった課題を抱えています。これらの課題を踏まえ、作業負担の軽減や効率的な農業技術の継承を促進するため、スマートフォンで操作する圃場の管理システム、ドローンを活用した農薬の散布など、先端技術を駆使した新たな農業の形に期待が寄せられており、企業や大学などが連携しながらその実証を進めています。JA共済では、各県域の実情に応じて最先端の農業機械の導入支援などに取り組んでおり、持続可能な地域農業の未来に貢献しています。



新しい技術が農業の現場でも活躍しているんですね！



その土地の息吹を伝える「祭り」



青森県「青森ねぶた祭」 京都府「時代祭」



高知県「よさこい祭り」 長崎県「長崎くんち」

日本では一年を通して各地で多彩な祭りが行われており、その数は数十万にのぼるともいわれています。

豊作祈願をはじめ、土地や自然の神様に感謝する伝統的な祭りや、季節に由来するもの、外国由来のものなどさまざまですが、地域に暮らす方が一緒になって祭りを盛り上げ、コミュニティが育つ文化として地域の歴史とともに受け継がれています。

国によって重要無形民俗文化財に指定されているものも多く、後世に残していきたい日本の伝統文化として、その魅力を感じに出かけてみませんか？

JA共済の地域貢献活動紹介ホームページ「ちいきのきずな」内のコンテンツ「ちいきのために」では、日本全国の祭りや伝統芸能を都道府県別に紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



お祭りの歓声が聞こえてきそうでワクワクします！

九州・沖縄エリア

- 福岡県
- 佐賀県
- 長崎県
- 熊本県
- 大分県
- 宮崎県
- 鹿児島県
- 沖縄県



40 福岡県

作文コンクールの開催を通じて小・中学生の豊かな心の成長に貢献

子どもたちの個性あふれる心の豊かな成長を願い、県内の小・中学生を対象にした「JA共済 小・中学生作文コンクール」を開催しています。56回目を迎えた令和2年度は、県内260校が参加し、学校推薦3,304点の応募がありました。表彰式はコロナ禍の影響によりやむなく中止となりましたが、今回も豊かな感性で綴られた多くの素晴らしい作品に出会うことができました。



41 佐賀県

オリジナルのぼり旗を寄贈し交通安全意識を喚起

交通安全意識の啓発に向けた「交通安全のぼり旗」1,800本を佐賀県に寄贈しました。多くの方の目に留まるよう、のぼり旗には、佐賀県民の特徴である「よかろうもん運転」（交通ルールを守らなくてもよかろうもん）減少への想いを込めたスローガン「やめよう！佐賀のよかろうもん運転」と、県の交通安全キャラクター「マニャー」がデザインされています。



42 長崎県

子どもたちに黄色い学童傘を寄贈し地域の交通事故未然防止に貢献

小学校新1年生の交通事故未然防止を目的に、令和元年度より、JAを通じて県下小学校への黄色い学童傘の寄贈を実施しています。寄贈式では小学校から、「1年生は学校に慣れた頃の5月に事故が多い。安全に配慮した傘をいただき、大変ありがたい」などの感謝の言葉をいただきました。



44 大分県

学童軟式野球大会の開催により子どもたちの健全な心身の育成に貢献

子どもたちの健全な心身の育成に向けて、大分県軟式野球連盟と「第2回JA共済杯学童軟式野球大会」を開催しました。コロナ禍の影響で多くの練習や公式戦が中止となるなか、少しでも子どもたちがグラウンドで輝く機会を提供したいという思いから、感染症対策を徹底して開催しました。また、参加チームに対しては感染予防用品に加え、県産農作物などを提供し、地域農業を支援しました。



46 鹿児島県

イノシシ捕獲用罠箱の製作・設置により鳥獣被害対策を支援

近年、徳之島で基幹作物であるサトウキビの食害が深刻な問題になっている状況を受け、生産意欲と反収の向上を図るため、地元猟友会と協力してイノシシ捕獲用罠箱4基を製作・設置しました。本取り組みの開始当初、先に設置した1基から4頭の捕獲が確認されるなど、生産農家の皆さまから安堵の声をいただきました。



43 熊本県

こども食堂等の活動を支援し地域の子どもたちを笑顔に

地域の子どもたちの「食料・農業」への理解を深めるとともに、大人数で食卓を囲む楽しさを伝えるため、こども食堂などの運営団体に対し助成を行いました。コロナ禍の影響もあって生活困窮世帯が増えているなかで、栄養バランスのよい食事の重要性が増し、フードバンクやこども食堂の存在意義は非常に高まっており、地域の皆さまの笑顔を支えるための支援活動に取り組みました。



45 宮崎県

移動販売車を寄贈し地域の皆さまの買い物をサポート

山間地域に居住する高齢者世帯などの生活利便性向上と感染症対策を目的に、移動販売車「いきいきGO」を「Aコープ高千穂店」に寄贈しました。地域の皆さまの声に寄り添った取り組みにより、「車を持っていないから買い物が不便で、とても助かっている」との言葉をいただきました。



47 沖縄県

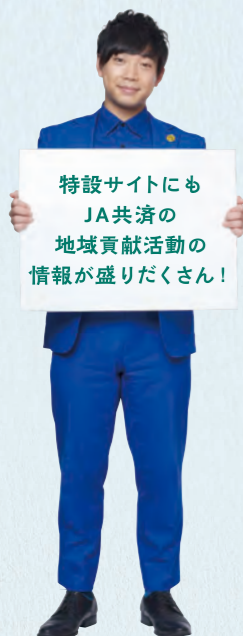
子ども支援団体へ食料品を寄贈し子どもたちの健やかな成長を支援

子どもの貧困率が高い沖縄県の実態を受け、「沖縄子どもの未来県民会議」と協力し、県内の子ども支援団体へ総額341万円相当の食料品を寄贈しました。寄贈式では、知事から「コロナ禍で厳しい環境にある子どもたちを支える力になると感じる」との言葉があり、団体代表者からは「このような支援が届くたびに勇気づけられる」と謝辞をいただきました。



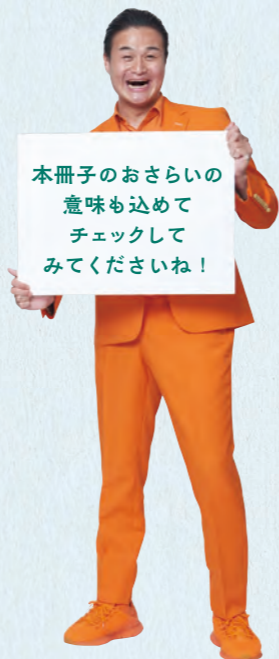
JA共済の地域貢献活動ホームページ 「ちいきのきずな」のご紹介

地域貢献活動の詳しい内容などをご覧いただけます。
また、お子さまも楽しく学べる交通安全コンテンツ、家族みんなの健康レシピなど暮らしに役立つ情報コンテンツも多数紹介しています。



ちいきのきずな

▶ <https://social.ja-kyosai.or.jp/>



おすすめコンテンツ②

47都道府県の地域貢献活動を紹介 「ちいきのために」

各都道府県で実施している主な地域貢献活動を記事形式で紹介しています。

また、各都道府県の郷土料理を家庭で再現できるレシピや、祭り、伝統芸能など都道府県の魅力を伝えるコンテンツが満載です。



JA共済 ちいきのために

▶ <https://social.ja-kyosai.or.jp/prefecture/>



おすすめコンテンツ①

家族みんなで健やかに、安全に。 「おうち時間を充実させよう!」

新型コロナウイルスと向き合いながら暮らしていく新しい生活様式のなか、自宅で健康に安心して過ごしていただくためのお役立ちコンテンツを紹介しています。

健康増進体操の動画や楽しく交通安全を学べるコンテンツなどをご覧いただけますので、家族みんなで過ごす「おうち時間」に、ぜひご活用ください。



JA共済 おうち時間

▶ <https://social.ja-kyosai.or.jp/ouchi/>



おすすめコンテンツ③

県域独自の地域貢献活動を動画で紹介 「一緒に地域を咲かせよう」

県域独自に実施している主な地域貢献活動を動画で紹介しています。

「農機レンタル」「農業体験」「食農教育」「移動購買車」といった地域のニーズに応じた活動の様子を動画でご覧いただけます。



JA共済 咲かせよう

▶ https://social.ja-kyosai.or.jp/prefecture_case/

